

會務報告

第27卷第3號 昭和16年3月

通常總會記事

昭和16年2月17日午後5時より東京市麹町區丸ノ内3丁目4番地帝國鐵道協會に於て通常總會を開催せり。

出席者：943名（委任狀共）

會長中村謙一君座長席に着き開會を宣し下記議事に就き出席會員の承認を得たり。

1. 昭和15年度事業報告（本號會告參照）
2. 昭和15年度決算報告（本號會告參照）
3. 役員選舉の結果報告

投票人員 1039名

會長當選 1014票 谷口三郎君
 次點 3票 吉町太郎一君
 2票 新井榮吉君
 2票 吉田徳次郎君
 以下略す

副會長當選 1006票 黒田武定君
 次點 4票 鈴木雅次君
 以下略す

常議員當選（改選） 1006票 青木楠男君
 992票 小林紫朗君
 992票 佐藤忠三郎君
 991票 今井周君
 985票 堀越一三君
 979票 酒井勇君
 978票 大石勇君
 977票 櫻井英記君
 976票 岩崎瑩吉君
 955票 澤勝藏君
 次點 14票 成瀬勝武君
 12票 池野敏夫君
 6票 荒木榮二君
 5票 阿部美樹志君
 5票 赤木正雄君
 5票 石川榮耀君
 5票 内村三郎君
 5票 永田年君
 5票 野坂相如君
 以下略す

常議員當選（増員） 963票 成瀬勝武君
 968票 森豊吉君
 965票 野坂相如君
 964票 池野敏夫君
 次點 8票 澤勝藏君

8票 堀越一三君
 7票 櫻井英記君
 4票 大石勇君
 4票 小林紫朗君
 以下略す

4. 土木學會定款及規則改正に關する件を一括上程し全會一致次の如く可決確定せり。

定款第五條 本會ハ必要ニ應シ地方ニ支部ヲ設ケ又ハ目的ヲ同シクスル法人ト提携シテ事業ヲ行フコトヲ得

同 第七條及規則第一條以下ノ會員特別員贊助員准會員學生員ノ名稱ヲ「正會員特別會員贊助會員准會員學生會員」トス

同第十一條 第二項及第三項トシテ次ノ條文ヲ加フ
 正會員ニシテ滿洲國及關東州ニ在住スル者ハ併セテ滿洲土木學會正會員タルモノトス
 滿洲土木學會正會員ハ本會正會員トシテ常議員會ノ承認ヲ得タルモノト看做ス

同第十三條 第二項トシテ次ノ條文ヲ加フ
 前項ノ會費ヲ納付シ回復スルト雖モ停止期間中ノ權利ハ之ヲ求ムルコトヲ得ス

同第十六條 但書トシテ次ノ條文ヲ加フ
 但シ滿洲國及關東州ニ在住スル者ハ前項ノ入會金及會費ヲ免除ス

規則第四條 特別會員ハ土木ノ事業ニ關係アル自然人ノ團體又ハ法人並ニ常議員會ニ於テ其資格ヲ認メタルモノニシテ本會ノ目的ヲ贊助スル者トス

同第十條 准會員カ正會員ニ資格ヲ變更セムトスルトキハ入會ノ手續ヲ準用ス

學生會員カ准會員ニ資格ヲ變更セムトスルトキハ學校卒業以前ニ其手續ヲナスヲ要ス

前項ノ手續ヲナササル者ハ學校卒業ノ月ヨリ准會員ニ資格ヲ變更シタルモノト看做ス

同第十五條 會長副會長及常議員ノ選舉ハ本會所定ノ無記名連記式投票用紙ヲ用ヒ定款第二十二條ニ依ル選舉ハ毎年一月末日迄ニ本會ニ到達スル様投票スルモノトス

同三十六條 支部ニ關スル規定並ニ法人トノ提携ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

5. 特定期間中入會金免除の件を上程し全會一致次の如く可決確定せり。

「昭和16年1月1日ヨリ昭和16年12月31日迄ニ新ニ入會ヲ承認セラレタル正會員准會員學生會員ニ對シ土木學會規則ノ規定ニ拘ラス特ニ入會金ノ納付ヲ免除スルコトヲ得」

6. 土木學會名譽會員推舉の件を上程し全會一致を以て下記3君を名譽會員に推舉することに可決確定せり。

- 會員 工學博士 野村龍太郎君
- “ 工學博士 田邊朔郎君
- “ 工學博士 古川阪次郎君

以上を以て議事を了し、引續き下記優秀論文の著者に對し昭和15年土木賞牌の贈呈を行ふ。

「最高強度コンクリートの製造方法に就いて」(土木學會誌第26卷第11號所載)會員 工學博士 吉田徳次郎君

次で中村會長の講演(別項)あり、午後7時閉會せり。

會長講演終了後有志晩餐會を開催し出席者53名にして午後時9散會せり(別項記事参照)。

役 員 會

第22回理事會(昭16.1.27.)

出席者: 中村會長, 谷口, 吉田兩副會長, 和田, 理事外5名, 中村書記長外2名

議 事

1. 昭和15年度決算並に昭和15年中死亡及退會に依る不納會費の缺損處分を別紙(省略)の通り承認。
2. 昭和16年度豫算費の採用を別紙(省略)の通り承認。
3. 關西支部昭和15年度決算を別紙(省略)の通り承認。
4. 東北支部昭和16年度豫算及昭和15年度決算を別紙(省略)の通り承認。
5. 北海道支部昭和15年度決算を別紙(省略)の通り承認。
6. 大政翼贊會經濟組織部へ會誌を寄贈することとせり。
7. 防空土木委員會委員に岩崎富久君, 阿部一郎君, 目黒雄平君を依頼することとせり。
8. 日本工學會編輯委員本會選出委員は會誌編輯委員會委員長を依頼することとせり。
9. 關西支部長改選の結果橋本敬之君當選せられたるに依り依頼することとせり。
10. 入退會を別記の通り承認。

第23回理事會(昭16.2.10.)

出席者: 中村會長, 谷口, 吉田兩副會長, 和田理事外5名, 中村書記長外3名

議 事

1. 昭和16年度追加豫算を別紙(省略)の通り承認。
2. 西部支部昭和15年度決算報告を別紙(省略)

の通り承認。

3. 西部支部昭和16年度豫算を別紙(省略)の通り承認。

4. 中部支部昭和15年度決算報告を別紙(省略)の通り承認。

5. 防空土木委員會委員を次の通り依頼することとせり。

- 委員 高井信一君
- 特別委員長(横濱地方) 三輪周藏君
- 特別委員(横濱地方)

- 阿部清紀君 大岡大三君 大林勇治君
- 大村四郎君 木村芳人君 小島達太郎君
- 下村 猛君 高田 廣君 野坂相如君
- 廣長良一君 藤田弘直君 宮崎正夫君
- 山田啓助君

事務幹事(横濱地方) 淺野 英君

以上

特別委員長(廣島地方) 佐土原勲君

特別委員(廣島地方)

- 岡田信次君 大島六七男君 佐分利三雄君
- 三上 昭君 服部 保君 稻葉 愷君
- 長崎敏香君 工藤久夫君

6. 元日本郵船倫敦支店長金鞍一榮君及航空本部大坂順次君の歐洲に於ける防空に關する講話を聴くこととせり。

7. 總會議事進行に關し別紙(省略)の通り申合せり。

8. 日本工學會より申出のセメント用語に關する本會の意見は別紙(省略)の通り回答することとせり。

9. 大陸研究に關しては新任會長に於て考慮研究することに申合せり。

第11回常議員會(昭16.1.27.)

出席者: 吉田副會長, 井關常議員外13名, 中村書記長外2名

報 告

1. 防空土木委員會委員に次の諸君を依頼

- 委員長 辰馬鎌藏君
- 委員 阿部一郎君 石川榮耀君 石塚久展君
- 磯谷道一君 今井 周君 今井 哲君
- 岩崎富久君 岡田 實君 金子源一郎君
- 河口協介君 菊池 明君 黒田靜夫君
- 小林紫朗君 佐田昌夫君 春藤眞三君
- 末森猛雄君 鈴木雅次君 高木敏雄君
- 高橋嘉一郎君 高橋三郎君 沼田政矩君
- 野口寅之助君 藤井眞透君 町田 保君
- 水谷當起君 目黒清雄君 森田三郎君
- 山崎匡輔君 吉田 直君 目黒雄平君

2. 關西支部昭和15年度事業及決算報告, 役員會

議事。
3. 記事。
4. 5. せり。
6. を別紙
議 1. 會に作
用を
2. とす。
3. 4. 秋山
5. 推舉
6. 定。
7. は次
副
常
臨
出
各
1. 記役
結果
出
記長
1. 抄
會
席

- 3. 東北支部昭和 15 年度事業及決算報告、講演會記事。
- 4. 北海道支部昭和 15 年度決算報告。
- 5. 大政翼賛會經濟組織部へ會誌を寄贈することゝせり。
- 6. 昭和 15 年 12 月及昭和 16 年 1 月中の入退會を別紙(省略)の通り承認。

議 事

- 1. 昭和 15 年度決算並に昭和 15 年度中死亡及退會に依る不納會費の缺損處分及昭和 16 年度豫算費流用を別紙(省略)の通り承認。
- 2. 昭和 16 年度支部交附金を別紙(省略)の通りとす。
- 3. 定款及規則改正の件を別紙原案の通り決定。
- 4. 構造土法案を今議會に提出するや否やに就ては秋山氏に一任することゝせり。
- 5. 土木學會名譽會員に全會一致を以て次の 3 君を推舉することゝせり。
野村龍太郎君、田邊遼郎君、古川阪次郎君
- 6. 昭和 15 年土木賞牌贈呈優秀論文は次の通り決定。

土木學會誌第 26 卷第 11 號登載

「最高強度コンクリートの製造方法に就いて」

著 者 會員 工學博士 吉田徳次郎君

- 7. 役員選舉投票開票日を 2 月 5 日とし立會役員は次の諸君とす。

副會長 吉田徳次郎君

常議員 和田重辰君 稻葉權兵衛君 井關正雄君
水谷當起君

臨時常議員會 (昭. 16. 2. 5.)

出席者: 吉田副會長, 和田, 稻葉(權), 井關, 水谷各常議員, 中村書記長外

1 月 26 日開催の常議員會に於て選任せられたる上記役員立會の下に役員選舉投票の開票を執行し, 其の結果別表(別項常議員會議事参照)の通り當選せり。

第 12 回常議員會 (昭. 16. 2. 10.)

出席者: 吉田副會長, 井關常議員外 9 名, 中村書記長外 3 名

報 告

- 1. 昭和 16 年度役員選舉の結果左記諸君當選

投票人員 1 039 名

會 長 當 選 1 015 票 谷 口 三 郎 君
次 點 3 票 吉 町 太 郎 一 君

以下略す

副 會 長 當 選 1 006 票 黒 田 武 定 君
次 點 4 票 鈴 木 雅 次 君

以下略す

常議員當選 (改選) 1 006 票 青 木 楠 男 君
992 票 小 林 紫 朗 君
992 票 佐 藤 忠 三 郎 君
991 票 今 井 周 君
985 票 堀 越 一 三 君
979 票 酒 井 勇 君
978 票 大 石 勇 君
977 票 櫻 井 英 記 君
676 票 岩 崎 瑩 吉 君
955 票 澤 勝 藏 君
次 點 14 票 成 瀬 勝 武 君

以下略す

常議員當選 (増員) 968 票 成 瀬 勝 武 君
968 票 森 豊 吉 君
965 票 野 坂 相 如 君
964 票 池 野 敏 夫 君
次 點 8 票 澤 勝 藏 君

以下略す

- 2. 中部支部第 1 回役員會議事及防空土木委員會委員別紙(省略)

- 3. 西部支部第 1 回役員會議事

- 4. 關西支部緊急役員會議事

- 5. 西部支部, 中部支部, 東北支部役員移動

- 6. 防空土木委員會横濱及廣島地方特別委員依囑(理事會議事参照)

- 7. 防空土木に關する談話會を開催(理事會議事参照)

議 事

- 1. 昭和 16 年度追加豫算を別紙(省略)の通り承認。

- 2. 西部支部昭和 15 年度決算を別紙(省略)の通り承認。

- 3. 西部支部昭和 16 年度豫算を別紙(省略)の通り承認。

- 4. 中部支部昭和 15 年度決算を別紙(省略)の通り承認。

第 1 回常議員會 (昭. 16. 2. 19.)

出席者: 谷口會長, 吉田, 黒田兩副會長, 青木常議員外 13 名, 中川元會長外 7 名, 中村書記長外 3 名

議 事

- 1. 昭和 16 年度理事に下記諸君當選。

理 事 青木楠男君, 稻葉權兵衛君, 岩崎瑩吉君, 富永正義君, 廣瀬孝六郎君, 堀越一三君

- 2. 昭和 16 年度各部々長に下記諸君就任。

總務部長 青木楠男君 經理部長 稻葉權兵衛君
編輯部長 廣瀬孝六郎君 調査部長 堀越一三君
法制部長 岩崎瑩吉君 東亞部長 富永正義君

總 務 部 記 事

土木學會文化映畫委員會 (昭. 16. 1. 30.)

出席者：青木委員長，金子委員外 5 名，

小野寺庶務主任

1. 委員長より本年度事業方針につき指示あり，各委員協議の上大綱を決定せり。

2. 雪の三國峠を撮影すべく其の調査を片平委員に依頼せり。

3. 過般來金子委員の斡旋による文化映畫シナリオ「道路」を十字屋文化映畫部より提出せられたるにより次回(2月3日)までに各委員に於て検討意見を持ち寄ることとせり。

4. 次回まで次の項目につき“テーマ”を持ち寄ることとせり。

- | | |
|-----------|-------------|
| イ. コンクリート | 片平委員 |
| ロ. 黄 土 | 青木，藤森，金子各委員 |
| ハ. 基 礎 | 廣田，澤，片平各委員 |
| ニ. 木 會 川 | 金子委員 |

5. 前委員草間康二酒歸京せるため委員に復活することとせり。

土木學會文化映畫委員會 (昭. 16. 2. 3.)

出席者：青木委員長，瀧尾委員外 6 名，總丸囑託，

小野寺庶務主任，十字屋文化映畫部より，田村，小林兩氏

1. 金子委員指導による十字屋文化映畫部作品“道路”シナリオにつき十字屋側より田村，小林兩氏出席の上打合せを行ひたり。尙同映畫には“土木學會文化映畫委員會後援”及“金子提案”のタイトルを入れる事に決定せり。

2. 今後，土木に關する文化映畫につき，十字屋文化映畫部と密接な連絡をとり，良き文化映畫を作ることに協力なすこととせり。

3. 片平委員よりシナリオ“コンクリート”の提出あり，次回委員會に於て検討することとせり。

土木學會文化映畫委員會 (昭. 16. 2. 19.)

出席者：青木委員長，瀧尾委員外 4 名，

總丸囑託，小野寺庶務主任

1. 三國峠雪の撮影につき具體案を決定せり。

- イ. 撮影隊は 3 月 2 日出發の事。
- ロ. 2 月 26 日 6 時半より土木學會に於て打合會を行ふこととせり。
- 打合會に出席者次の如し。
- 藤森，下山，片平各委員，總丸囑託，市浦氏，山田氏

2. 3 月映畫會を開催すべくその題名を下記選定しその交渉をなすこととせり。

1. タコマ橋の落下記録

2. 大平原

3. 熱砂の誓

4. ムツソリエア

3. シナリオ“コンクリート”につき検討せり。

4. “基礎”“洪水”“黄土”のシナリオ提出され次回検討することとせり。

第 1 回防空土木委員會 (昭. 16. 1. 20.)

出席者：辰馬委員長，石川委員外 24 名，

谷口，吉田兩副會長，和田理事外 2 名，

中村書記長，小野寺庶務主任

吉田副會長より防空土木委員會設置の趣意に就いて挨拶あり，辰馬委員長より本委員會としての研究事項に對する行方其他に就て語り，各委員意見交換の結果差當り緊急對策並に其實施方法に就き研究することとし行方の立案に就ては委員長に一任せり。

防空土木委員會小委員會 (昭. 16. 1. 25.)

出席者：辰馬委員長，石川委員外 8 名，

吉田副會長，瀧尾，富永兩理事，中村書記長，小野寺庶務主任

協議事項

1. 本委員會の研究事項に對する行方に就き協議し次の如く實行要領を申合せり。

本委員會實行要領

1. 本委員會に於ては不取敢防空土木緊急對策並に其實施方法を研究立案するものとす。
2. 區域を帝都其他の重要地域とし各地方支部管内の重要地域に對しては各支部に研究立案を依頼するものとす。
3. 研究事項は本委員會幹事會に於て作成し委員會に於て検討するものとす。

2. 委員及幹事に次の諸君を追加

- 委員 阿部一郎君，岩崎富久君
幹事 阿部一郎君，今井周君，
岩崎富久君，森田三郎君

第 2 回防空土木委員會 (昭. 16. 1. 25.)

出席者：辰馬委員長，阿部委員外 1 名

谷口，吉田兩副會長，稻葉(通)，

廣瀬兩理事，中村書記長，小野寺庶務主任

協議事項

1. 小委員會に於て立案したる本委員會の事業實行要領に就き協議し原案の通り決定。

2. 委員に阿部一郎君，岩崎富久君，目黒雄平君を追加。

3. 幹事に阿部一郎君，今井周君，岩崎富久君，森田三郎君，目黒雄平君を追加。

防空土木委員會第 1 回幹事會 (昭. 16. 2. 4.)

5. 出
協
1.
り。
防
出
協
1.
の通
防
出
協
1.
部支
移る。
2.
等に
可決。
第
出
協
1,
案を
とせ
防
出
辰
方針
木横
委員
針等
談
満

出席者：辰馬委員長，春藤幹事長，石川(代奥田)，石塚，磯谷，今井，岩崎，町田各幹事，中村書記長

協議事項

1. 研究方針及研究事項に就き意見の交換を行ひたり。

防空土木委員会第2回幹事會 (昭. 16. 2. 7.)

出席者：春藤幹事長，阿部，石川(代奥田)，石塚，岩崎，兼池(代金子)，森田(代瀧尾) 各幹事 磯谷，阿部(清) 大村，小島，野坂各委員，淺野幹事(横濱) 中村書記長，小野寺庶務主任

協議事項

1. 研究方針及研究事項に就き協議し(別紙)省略の通り決定せり。

防空土木委員会第3回幹事會 (昭. 16. 2. 14.)

出席者：辰馬委員長，春藤幹事長，石川，石塚，岩崎，目黒，町田各幹事，奥田，阿部(清) 大村，高田，野坂各委員，淺野幹事(横濱) 和田理事，中村書記長，小野寺庶務主任

協議事項

1. 辰馬委員長及町田委員より廣島特別委員會，西部支部委員會設置に就き経過及結果の報告あり議事に移る。

2. 春藤幹事長より研究の範囲程度及研究調査分擔等に就き別紙案(省略)の説明あり検討の結果原案を可決。

第3回防空土木委員会 (昭. 16. 2. 19.)

出席者：辰馬委員長，石塚委員外 22 名，中村書記長

協議事項

1. 研究事項並に分擔事項及擔當委員に就き幹事會案を検討し原案の通り可決確定し速かに實行に移ることとせり。

防空土木委員会横濱地方懇話會 (昭. 16. 2. 4.)

出席者：辰馬委員長，磯谷委員，三輪周藏君，宮崎正夫君，野坂相如君，廣長良一君，大林勇治君，下村 猛君，藤田弘直君，木村芳人君，大村四郎君，高田 廣君，小島達太郎君，淺野英君，中村書記長 小野寺庶務主任

辰馬委員長より防空土木委員会の設置趣意並に研究方針等に就き説明し，懇談の結果委員会名稱を防空土木横濱地方特別委員会とし，三輪周藏君を委員長に外委員 13 名，事務幹事 1 名を依囑すること並に研究方針等を決定。

談話會 (昭. 16. 2. 6.)

満鐵ビル内「あじあ」に於て，日本郵船株式会社取

締役元倫敦支店長金鞍一榮君の空襲下に於ける倫敦の防空に関する講話を聴く。出席者次の如し。

出席者：谷口會長，吉田，黒田兩副會長，和田外 4 理事，井關外 7 常議員，那波外 5 前會長 辰馬防空土木委員会委員，阿部外 31 委員 談話會 (昭. 16. 2. 20.)

帝國ホテルに於て，航空本部大坂順次君の「歐洲に於ける空襲及防空に関する講話を聴く。出席者次の如し。

出席者：谷口會長，吉田，黒田兩副會長，青木外 15 常議員，中川外 6 前會長，辰馬防空土木委員会委員長，石川外 32 委員，和田外 4 前常議員，小野外 4 地方委員。

編輯部記事

第2回會誌編輯委員會 (昭. 16. 2. 12.)

出席者：廣瀬委員長，佐藤委員外，7 名 左合編輯主任外 3 名

- 1. 第 27 卷第 2 號登載原稿謝禮を決定
2. 第 27 卷第 4 號登載原稿を次の如く決定

論說報告：海工用巨大塊體に関する研究(其の2) (會，鮫島 茂)，中空壓縮材の捫屈に屬する理論的研究(3,4) (會，横田周平)，連続アーチの計算(會，小野一良)

彙報：ソ聯の鉄筋コンクリート標準示方書(會，原田干三)，コンクリート及鉄筋コンクリート寒中施工標準示方書(科學審議會土木分科會)

抄録：寒中コンクリート工事に於ける混和材の加熱溫度，颱風の進路を豫想する一方法，颱風の進路と降雨區域，ポルトランドセメントの A.S.T.M. 新規格，拱頂より起拱點に向ひ斷面を漸減せる中空斷面の鉄筋コンクリート無絞拱に就いて，3 點問題簡易化，鉄筋コンクリートアーチ設計示方書の提案，僅かに彎曲せる鋼壓縮材が振動荷重を受けた場合の力學，圓形水底隧道の鐵製工の設計，揚子江の流速の垂直分布と渦粘性係數に就て，軍用飛行場の防空設計，ガラスによる補強コンクリート。

調査部記事

コンクリート調査委員會 (第6回一般構造物コンクリート小委員會) (昭. 16. 1. 29.)

出席者：沼田委員長，内山委員外 5 名，芝地君

- 1. 前回保留せる第 33 條アーチに於けるコンクリート打ちを再審議。
2. 第 43 條表面仕上げ審議。

コンクリート調査委員會 (第7回一般構造物コンク

リート小委員会) (昭. 16. 2. 4.)

出席者: 沼田委員長, 内山委員外 4 名,
磯崎君, 芝地君

1. 寒中コンクリートの一般注意事項に關し討議。
2. 吉田博士より寒中コンクリートに關する試験結果報告。
3. 次回委員会は 2 月 14 日 (金) に開催の豫定。
4. 次回は寒中コンクリートに關し逐條審議の豫定
コンクリート調査委員會 (第 8 回一般構造物コンクリート小委員会) (昭. 16. 2. 14.)

出席者: 沼田委員長, 内山委員外 4 名, 磯崎君

1. 第 10 章寒中コンクリート第 44 條適用の範圍より第 47 條混合及びコンクリート打ち (I) までを審議, 第 44 條適用の範圍及び第 46 條材料の加熱に於けるセメント加熱の項は保留。

コンクリート調査委員會 (第 9 回一般構造物コンクリート小委員会) (昭. 16. 2. 18.)

出席者: 沼田委員長, 安藤委員外 9 名
磯崎君, 芝地君

1. 前回審議せる寒中コンクリートの條項を再審議し, 更に第 49 條型枠の取外しまでを審議。
2. 次回委員会は 2 月 25 日 (火) に開催の豫定。
3. 次回は水中コンクリートの條項を逐條審議の豫定。

水理公式調査委員會 第 2 回第 3 部會 (水道) (昭. 16. 1. 18.)

出席者: 廣瀬主査, 杉戸委員外 3 名, 安藤, 木間
兩幹事, 佐藤幹事 (第 4 部), 内田囑託

1. 各委員分擔の公式に就き執筆進行状態を報告し尙意見を交換。
2. 既に完成せる部分は, 廣瀬主査と木間幹事との手許にて整理する事。

水理公式調査委員會 第 3 回第 3 部會 (水道) (昭. 16. 2. 19.)

出席者: 廣瀬主査, 杉戸委員外 3 名
安藤, 木間兩幹事

各委員分擔の分は前回殘部も略々完成せるに就き, 全部を廣瀬主査と木間幹事との手許にて整理することとし尙各種意見を交換せり。

水理公式調査委員會 (第 4 部會) (昭. 16. 2. 3.)

出席者: 鳥野主査, 内林, 黒田, 佐藤各委員

1. 2 月末提出の公式案につき審議

第 10 回用語調査協議委員會 (昭. 16. 2. 3.)

出席者: 中川委員長, 福田主査, 板倉委員外 3 名
決定事項 糸川幹事, 平野囑託, 左合編輯主任

1. セメント關係用語集は其の内容に用語の適當ならざるもの, 又は關係なきもの等改正を要すべきものあるを認むるを以て, 本委員會としては既に回答期限

を經過したるも一應意見を具申する事とし, 其の調査方は福田主査に一任とせり, 尙右回答は本會コンクリート委員会にも通知することゝす。

2. 勅受委員會よりの用語は, 本委員會としては異議なきものとし, 目下編纂中の工學辭典にも採用することゝす。

3. 委員會委員の缺員野口誠君の補充は目下急を要せざるを以て英和工學辭典編纂終了まで一應保留すること。

4. 既に本委員會に於て制定せる用語 (土木工學用語集) を廣く一般に使用せしむる目的を以て左の如く土木學會長名を以て通知を願ふことゝせり。

(イ) 土木學會各委員會に於て起草する各種示方書報告書等は必ず用語調査委員會に會議し用語の統一を計ること。

(ロ) 土木關係の他學協會等に於ても其の發表する各種示方書, 報告書等にも本用語を使用さるゝ様希望通牒すること。

5. 本委員會の經過の中間報告を幹事に於て起草し會長に提出すること (別紙)。

6. 英和工學辭典の完成も茲 2, 3 ヶ月に迫りたるを以て其の序文, 價格の決定等を幹事に於て研究すること。

關西支部記事

第 1 回役員會 (昭. 16. 1. 17.)

出席者: 平野支部長, 松島前支部長外 3 名, 原口
縣議員外 7 名, 大島幹事長, 大森, 堀兩
幹事申川囑託外 1 名

議事

1. 昭和 15 年度事務及會計報告の件
2. 昭和 16 年度總會の件
3. 座談會及見學會の件その他

役員選舉結果 (昭. 16. 1. 24. 投票執行)

支部長當選 橋本敬之君

商議員當選 瀧淵度烈君, 青木信夫君, 松谷 正君

菊池 芳君, 小野龍一君, 谷 堅君

武田英吉君, 小坂忠一君

臨時役員會 (昭. 16. 1. 31.)

出席者: 橋本支部長, 松島前會長外 2 名, 佐藤利

恭君, 原口常議員外 9 名, 大島幹事長,

稻浦, 堀兩幹事, 申川囑託外 1 名

議事

1. 土木學會關西支部防空土木委員會設置の件下記の通り決定。

土木學會關西支部防空土木委員會

紀元
青
會
講

出
秋
會
講
出
役
支
商

1. 土木學會本部防空土木委員會設置の趣意に基き當支部管内防空土木緊急對策並に其の實施方法を研究立案するため本委員會を設く。
2. 委員會は速に研究の結果を取纏め本部委員會に報告するものとす。
3. 委員會は委員長及委員若干名を以て組織す。委員長及委員は會員中より之を委嘱す(委員名省略)。

- 出席者: 田淵支部長, 北澤前支部長, 大石評議員外 14 名, 比企野幹事長, 中島幹事外 3 名
1. 評議員補缺の件
 辭任 田邊良忠君, 中忠義君, 大島六七男君
 新任 横山 喬君, 梅原達也君, 上田柳一君
 辭任幹事 今泉佳三郎君, 新任 中島忠次君
 2. 昭和 15 年度決算報告の件
 3. 昭和 16 年度事業計畫の件その他

東北支部記事

紀元 2600 年記念講演會
 青森縣地方部會 (昭. 15. 12. 9.)
 會 場: 青森縣會議事堂
 講演者及演題 (イ) 大政翼賛に就て
 大政翼賛會青森支部常務委員 和田喜太郎君
 (ロ) 國土計畫に就て
 會員 内務技師 前田千代治君

出席者: 90 餘名
 秋田縣地方部會 (昭. 15. 12. 21.)
 會 場: 秋田縣廳
 講 演: 土木工事に關する地質學
 秋田鑛山専門學校教授 大橋良一君
 出席者: 20 餘名
 役員選舉結果 (昭. 19. 1. 31. 投票執行)
 支部長當選 金森誠之君
 商議員當選 後藤季總君, 後藤久吉君, 上山經亮君
 岡崎信雄君, 佐藤東次郎君, 菅良二君

北海道支部記事

第 4 回北海道支部大會 (昭. 16. 1. 25.)
 會 場: 札幌鐵道集會所
 議 事: 昭和 15 年度事業及決算報告
 講 演: 1) 本土と北海道との連絡に就て
 會員 工學博士 小野諒兄君
 2) 軌道の横剛性に就て
 會員 千秋邦夫君
 3) 石狩工業港に就て
 會員 平尾俊雄君
 映 畫: 1) 獨逸國有自動車道路, 3) 神國日本
 2) 佛印國境を行く, 4) ニューズ
 出席者: 163 名

中部支部記事

第 1 回役員會 (昭. 16. 1. 18.)

西部支部記事

第 1 回役員會 (昭. 16. 1. 18.)
 出席者: 三瀬支部長, 稻田商議員外 7 名, 松尾幹事長赤岩幹事外 5 名,
 1. 昭和 15 年度決算其他の件
 2. 昭和 16 年度事業計畫及豫算の件
 3. 事業資金募集の件
 4. 西部支部地方計畫調査委員會設置の件
 役員移動 商議員辭任尾崎義一君, 新任佐々木銑君
 第 2 會役員會 (昭. 16. 2. 9.)

出席者: 辰馬防空土木委員會委員長, 町田委員, 三瀬支部長, 伊藤百世君, 稻田商議員外 5 名, 松尾幹事長, 赤岩幹事外 5 名
 1. 土木學會西部支部防空土木委員會設置の件, 下記の通り決定。
 土木學會西部支部防空土木委員會
 1) 土木學會本部防空委員會の設置の趣意に基き當支部管内防空土木緊急對策並に其の實施方法を研究立案するため本委員會を設く。
 2) 委員會は速に研究の結果を取纏め本部委員會に報告するものとす。

日本工學會記事

日本工學會評議員會 (昭. 16. 1. 21.)
 議 事
 1. 昭和 16 年度收支豫算の件
 2. 特別會計に關する件
 3. 工學と工業を月刊とする件
 4. 對企畫院建議中提出に關する件に就き協議し, 外一般事務報告

通常總會有志晚餐會

通常總會終了後有志晚餐會を鐵道協會大食堂に於て開催した。中村會長, 谷口新會長, 留任の吉田副會長, 黒田新副會長, 田邊名譽會員を始めとして新舊役員, 一般會員有志 50 名の参加を得て極めて盛會であつた。

吉田副會長は留任役員を代表し今回退任される中村會長、各理事、常議員に對し衷心よりその御盡力に謝意を述べられた。中村會長より退任の挨拶あり、谷口新會長より、新任役員を代表し挨拶を述べられ、重大時局下に於ける本會の使命達成に對し其の決意を披瀝された。次いで今回名譽會員に推舉された田邊朝郎氏より御挨拶があつた。

之より引續いて自由談話に入り、吉田副會長の指名で、瀧山與氏より職域奉公の具體論、同氏の指名で古藤猛哉氏は後藤新平、廣井勇、田邊朝郎三氏に關する思ひ出話をされた。

斯くて有意義なる有志晚餐會は午後 8 時 15 分終了した。

總會及晚餐會出席者 (アイウエオ順)

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 青木 楠 男君 | 青山 吟 三郎君 | 井上 秀 二君 |
| 井關 正 雄君 | 池田 嘉 六君 | 池邊 稻 生君 |
| 磯海 國 吉君 | 板倉 誠君 | 稻葉 權 兵衛君 |
| 稻葉 通 彦君 | 岡崎 正 伸君 | 神原 信 一郎君 |

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 神谷 國 繁君 | 菅野 忠 五郎君 | 河原 直 文君 |
| 北澤 淳 夫君 | 黒田 武 定君 | 小山 友 直君 |
| 古藤 猛 哉君 | 小林 紫 朗君 | 佐藤 忠 三郎君 |
| 櫻井 英 記君 | 眞田 秀 吉君 | 澁谷 彦 吉君 |
| 須山 英 次郎君 | 杉 戸 清君 | 田中 豊君 |
| 田邊 朝 郎君 | 瀧 尾 達 也君 | 瀧 山 與君 |
| 辰馬 鎌 藏君 | 谷 口 三 郎君 | 富 永 正 義君 |
| 那波 光 輝君 | 中村 謙 一君 | 永井 松 次郎君 |
| 成瀬 勝 武君 | 野坂 相 如君 | 畑 中 善 造君 |
| 百武 定 一君 | 廣瀬 孝 六郎君 | 堀 越 一 三君 |
| 前川 貫 一君 | 名 井 九 介君 | 森 豊 吉君 |
| 山崎 匡 輔君 | 山本 新 次郎君 | 吉田 德 次郎君 |
| 和田 重 辰君 | 中村 孫 一君 | |

その 他 記 事

土木學會誌第 27 卷第 2 號を發行成規の手續を了し會員に配布せり。

入 會 及 轉 格 會 員

(敬稱を略す)

特 別 員 (入 會)

- | | | | |
|-----------------|--------------|-----------|---------------|
| 株式會社川口組 | 川口 常 五郎 | 千 徳 光 保 | 佐々木 橋 藏 (3級) |
| 國策パルプ工業株式會社旭川工場 | 高 田 秀 實 (3級) | | |
| 東邦ロックリート工業株式會社 | 黒 川 章 六 | 六 井 卯 一 郎 | 地 崎 宇 三郎 (3級) |

會 員 (入 會)

- | | | | | | |
|----------|---------|---------|-------|-------|-----------|
| 青 笹 慶 三郎 | 岡 本 丈 夫 | 高 松 信 一 | 豊 田 巖 | 沼 尾 林 | 沼 尻 俊 之 助 |
| 橋 本 利 一郎 | 古 瀬 長 治 | 松 尾 永 | | | |

准 員 (入 會)

- | | | | | | |
|-----------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 安 藤 修 | 伊 佐 眞 人 | 一 戸 良 清 | 上 田 良 勝 | 熊 丸 長 夫 | 小 岩 忠 |
| 篠 崎 正 一 | 柴 田 清 | 須 田 新 八 | 菅 原 鐵 二 朗 | 高 城 宗 義 | 露 口 忠 四 郎 |
| 洞 口 正 治 | 中 嶋 廣 志 | 永 井 一 男 | 永 井 幸 治 | 服 部 寅 雄 | 平 栗 弘 一 |
| 眞 鍋 義 太 郎 | 松 尾 林 | 丸 地 角 衛 | 三 室 不 二 夫 | 村 上 重 治 郎 | 村 田 祐 章 |
| 吉 澤 新 太 郎 | 今 越 茂 | 小 池 市 | | | |

學 生 員 (入 會)

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|
| 町 清 | 小 林 義 惠 | 佐 藤 竹 夫 | 七 里 和 夫 | 周 防 末 雄 | 高 橋 芳 雄 |
| 中 川 利 次 | 中 野 有 | 中 村 恵 次 | 野 間 口 新 弘 | 堀 川 二 郎 | 森 澤 敬 一 |
| 羅 本 宗 弘 | 小 檜 山 齊 | | | | |

會 員 (轉 格)

- | | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|---------|
| 岡 村 隆 一 | 川 勝 常 次 郎 | 永 田 星 次 | 山 内 一 郎 | 山 本 三 郎 |
|---------|-----------|---------|---------|---------|

准 員 (轉 格)

- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 伊 藤 三 郎 | 小 川 健 二 | 勝 部 泰 次 | 立 石 進 |
|---------|---------|---------|-------|

土 木 學 會 々 員 數

(昭. 16. 1. 27. 現在)

會 員	准 員	學 生 員	特 別 員	贊 助 員	合 計
3598	5081	1389	111	26	10204

正 會 員 工學博士眞島健三郎君 昭和 16 年 2 月 16 日逝去せられたり
 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

正 會 員 齋藤貫一君, 徳永氏吉君, 花井卯一君の訃報に接す 本會は
 恭しく哀悼の意を表す

准 會 員 何藤登司壽君, 小笹徳藏君, 興石一治, 西屋勝夫君の訃報に
 接す 本會は恭しく哀悼の意を表す

費を了

之 助

忠 四 郎 弘 一 祐 章

芳 雄 一 敬

昭和16年2月25日印刷 昭和16年3月1日發行 (定價金1圓)

編輯兼發行者 東京市牛込區南町33番地
中村 孫 一

印刷者 東京市神田區美土代町16番地
島 誠

印刷所 東京市神田區美土代町16番地
三 秀 舍

東京市麴町區丸ノ内3丁目6番地

發 行 所 社 團 法 人 土 木 學 會

電 話 丸ノ内(23) 3945番, 娘 卷 口 座 東 京 16828番



谷口三郎

會長
工學士
谷口三郎



吉田徳次郎

副會長
工學博士
吉田徳次郎



黒田武定

副會長
工學士
黒田武定

既刊會誌殘部内譯

(* は残部有るものを示す)

卷 號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額(1部) (圓)
6	—	—	*	—	—	*	—	—	—	—	—	—	2.00
7	—	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
8	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
9	*	—	*	—	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
10	—	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
11	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
12	—	*	*	—	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
13	—	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
14	—	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
16	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
18	—	—	*	—	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
19	*	*	*	*	*	*	—	*	*	*	—	*	1.00
20	—	—	*	—	—	—	*	*	*	*	—	*	1.00
21	—	—	*	*	—	*	—	—	*	*	*	*	1.00
22	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
23	—	*	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
24	*	*	*	*	—	—	*	*	*	—	—	—	1.00
25	—	*	—	—	—	*	—	*	*	*	*	*	1.00
26	—	*	—	*	—	—	—	*	—	*	*	*	1.00
27	*	*											
第 20 卷第 12 號 (創立 20 周年記念號)													1.50
第 21 卷第 7 號 (會誌索引付)													1.30
大正十二年關東大地震被害調査報告書 (1, 2, 3)													18.00
鐵筋コンクリート標準示方書]													1.20
同上 解 說]													1.20
土木工學論文抄録第一輯													3.50
土木工學論文抄録第二輯													5.00
土木學會誌索引 (第 1 卷第 1 號~第 20 第卷 12 號) ..													0.50
土木工學用語集													2.50 (會員に限り 1割引)

上記残部會誌其の他の刊行物御希望の場合は所定金額を振替口座東京 16828 番にお拂込み下さい。

DOBOKU-GAKKAI-SI

(JOURNAL OF THE CIVIL ENGINEERING SOCIETY)

VOL. XXVII, NO. 3, MARCH 1941.

CONTENTS

	Page
Proceedings of the Society	11
Presidential Address	
On the New Main Line between Tokyō and Simonoseki. <i>By Kenji Nakamura, President.</i>	191
Addresses	
General Description of Air Raid Precaution in Japan. <i>By Sinzō Syundō, C. E., Member.</i>	197
A Trial Planning for Air Raid Protection of Tokyō. <i>By Eiyō Isikawa, C. E., Member.</i>	200
Papers	
A Study on the Huge Precast Bodies in Maritime Works. (Part 1) Appendix-Several Actual Examples at Yokohama and Other Ports. <i>By Sigeru Samesima, Dr. Eng., Member.</i>	230
Theoretical Investigations on Buckling of Hollow Columns. (1, 2) <i>By Syūhei Yokota, C. E., Member.</i>	256
Notes on Matters of Interest	279
Abstracts of Selected Articles	290
Current Notes	310
Patent News	313
New Publications	315

OFFICE

No. 6, 3-TYŌME, MARUNOUTI, KŌZIMATI-KU, TŌKYŌ, JAPAN.